

2026年6月23日
株式会社高島屋
東神開発株式会社

流山市と東神開発の官民連携が評価

『第5回まちづくりアワード（令和8年度・功労部門）』を受賞

～「流山おおたかの森駅前『森のまち広場』』を起点にした魅力あるまちづくり～

株式会社高島屋（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：村田善郎、以下「高島屋」）の連結子会社である東神開発株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：倉本真祐、以下「東神開発」）は、流山市と連携して取り組む「流山おおたかの森駅前『森のまち広場』」の整備・運営が評価され、国土交通省が表彰する『第5回まちづくりアワード（令和8年度・功労部門）』を、流山市と連名で受賞しましたので、お知らせいたします。



「流山おおたかの森駅前『森のまち広場』」のイベント開催時の様子

■ 本表彰の概要

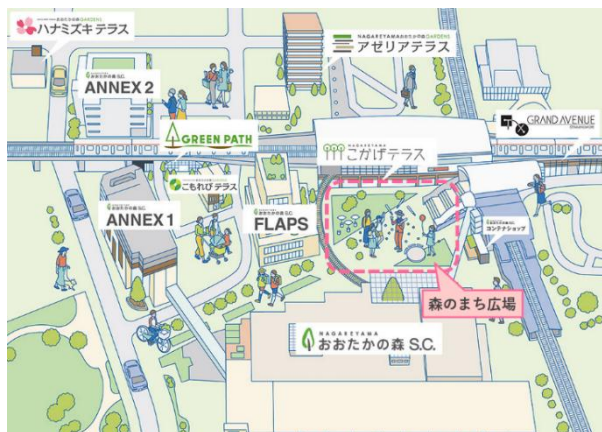
「まちづくりアワード」は、都市における種々の課題解決や良好な環境の創造、地域の価値向上を図る先導的な取り組みなど、まちづくりのあらゆる取り組みの中から特に優れたものに対して、国土交通省が表彰を行うものです。

この度、東神開発と流山市は、官民一体となり、「流山おおたかの森駅前『森のまち広場』」にテナントショップやステージを整備し、商業施設との一体的なイベント運営・維持管理で賑わい創出と魅力あるまちづくりに貢献したとして、連名で表彰されました。

■「流山おおたかの森駅前『森のまち広場』」の概要

「流山おおたかの森駅前『森のまち広場』」は、つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン（東武野田線）流山おおたかの森駅南出口を降りた先、東神開発が運営する流山おおたかの森 S.C.本館との間に位置し、開業当時から、流山市と東神開発が共同で緑豊かな心地よい環境を整備してまいりました。また、2021年より流山市から広場の運営・維持管理を受託し、テナショップや広場中心部へのステージ設置といったハード面の整備から、年間160日以上のイベントを開催するなどソフト面の運営まで、地域の賑わいや地域コミュニティの醸成を目的に取り組みを継続してまいりました。

今後も流山市と共に、「森のまち広場」を中心とした流山おおたかの森エリアの賑わい創出に寄与してまいります。



「流山おおたかの森 S.C.及び周辺物件」と「森のまち広場」のマップ



イベント開催時の様子

■流山おおたかの森 S.C.

2007年、つくばエクスプレスの開通に合わせて開業。以来15年以上にわたり、行政や鉄道と連携しながら、10の施設を段階的に開発してきました。郊外に新たな賑わいを創出し、街の成長に合わせて計画的に面開発を行う長期的な視点での取り組みは、東神開発の強みである“立地創造型の開発”を象徴しています。変化する地域のニーズに応え続ける姿勢は地域の方々から評価され、現在では、子育て世代や共働き世帯にやさしいショッピングセンターとして親しまれています。今後は、地域のサステナビリティやコミュニティの拠点として、さらに地域に根ざした存在となることをめざし、さまざまな取り組みを進めてまいります。

流山おおたかの森 S.C. 公式ホームページ：<https://www.otakanomori-sc.com/>

スペシャルムービー：[「共創から生まれる、まちづくり」](#)

「THE SPIRIT」地域と共に歩む流山おおたかの森 S.C.のまちづくり：[THE SPIRIT | 高島屋グループ](#)

■高島屋グループ グループ総合戦略「まちづくり」

高島屋グループでは、①高島屋グループの商業施設を中心とした街の賑わいを創出し、地域との共生をめざす「街のアンカーとしての役割発揮」、②グループ各事業のノウハウを結集し、お客様満足を追求した、当社独自の新たな商業施設づくりを推進することによる「館の魅力最大化」という2つの考え方のもと「まちづくり」を推進しています。今後も、このグループ総合戦略「まちづくり」に基づき、それぞれの地域環境に合わせた魅力ある商業施設運営を行うことで、リアルな施設ならではの体験価値を提供してまいります。

以上